### 2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士学科	科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	医療治療機器学	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (1) 時間(単位)
対象学年	2年次	学期及び曜時限	通年	教室名	402
担当教員	糸賀 聖人実務経験と別所 絵里奈その関連資格		付属病院MEセンターにて臨床工学技士として勤務経験あり 臨床工学技士として勤務経験あり		

## 《授業科目における学習内容》

電気的治療器、機械的治療機器、手術用機器の原理・用途をはじめとして、最近の内視鏡機器の原理・用途、心臓カテーテル の治療について学ぶ。

### 《成績評価の方法と基準》

定期試験点:70%

通常点(J-Web等の課題点):30%

# 《使用教材(教科書)及び参考図書》

- •臨床工学講座 医用治療機器学
- ・臨床工学技士標準テキスト

### 《授業外における学習方法》

毎回授業の内容を自宅にて復習。定期的に行うWebを使用した課題への取り組み第2種ME技術実力試験への挑戦と合格を目指した復習を行う

## 《履修に当たっての留意点》

講義中に解らないことがあれば質問を行い講義内容は把握することに努める。 また、自宅学習で復習を行い、講義内容で解らないことがないように努める。

授業の 内 容			内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	治療の基礎について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
1	<b>個習形式</b>	各コマに おける 授業予定	治療の基礎(作用と副作用 / 治療用物理エネルギーの種類と 特性)	・臨床工学技士標準テキスト	特になし
第	講義沒	授業を 通じての 到達目標	病院内・在宅で使用する医療機器の目的と用途を理解し、説明 できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
2	演習形式	各コマに おける 授業予定	病院内・在宅で使用する医療機器の基本	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	電気メスの基礎について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
3	<b>興習形式</b>	各コマに おける 授業予定	電気メスの基礎について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	電気メスの事故と対策について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
4	<b>興習形式</b>	各コマに おける 授業予定	電気メスの事故と対策について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	電気メスの保守管理について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
5 回	<b>漢習形式</b>	各コマに おける 授業予定	電気メスの保守管理について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ

	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第 6	講義演	授業を 通じての 到達目標	マイクロ波手術装置の原理と構成について理解し、説明できる	•臨床工学講座 医用治療機器学	<b>並回の継ぎのよ</b> しぬ
回	習形式	各コマに おける 授業予定	マイクロ波手術装置の原理と構成について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	マイクロ波手術装置の適応症例について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
7 回	習形	各コマに おける 授業予定	マイクロ波手術装置の適応症例について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	超音波吸引器の原理と構造について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
8	習形	各コマに おける 授業予定	超音波吸引器の原理と構造について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	超音波凝固切開装置の適応と対象疾患について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
9	習形式	各コマに おける 授業予定	超音波凝固切開装置の適応と対象疾患について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	冷凍手術器の原理と構造・適応症例ついて理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
10回	習形式	各コマに おける 授業予定	冷凍手術器の原理と構造について 冷凍手術器の抵抗症例について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	ハイパーサーミアの原理と構造患・適応症例について理解し、 説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
11	習形	各コマに おける 授業予定	ハイパーサーミアの原理と構造について ハイパーサーミアの適応症例について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	結石砕石装置の原理と構造及び適応疾患について理解し、 説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
12	<b>個習形式</b>	各コマに おける 授業予定	結石砕石装置の構成と分類について 結石砕石装置の適応症例について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	レーザー手術装置の原理と構造・適応症例について理解し、 説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
13回	興習 形式	各コマに おける 授業予定	レーザー手術装置の原理と構造について レーザー手術装置の適応症例について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第 14 回	講義	授業を 通じての 到達目標	内視鏡外科手術機器の原理と構造原理と構造 及び 処置時の周辺機器を理解し、説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
	演習形式	各コマに おける 授業予定	内科的内視鏡装置の原理と構造について 内視鏡的処置時の周辺機器について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義	授業を 通じての 到達目標	内科的内視鏡の処置と適応症例を理解し、説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
15 回	演習形式	各コマに おける 授業予定	内科的内視鏡の処置の実際	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ

授美方	業の 法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	外科的内視鏡手術における適応症例を理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
16	習形式	各コマに おける 授業予定	外科的内視鏡手術の実際	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	低圧持続吸引器の目的について理解し、説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
17 回	個習 形式	各コマに おける 授業予定	低圧持続吸引器の種類と目的について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	除細動器の目的と適応症について理解し、説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
18 回	習形式	各コマに おける 授業予定	除細動器の目的と適応症について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	除細動器とAEDについて理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
19 回	個習 形式	各コマに おける 授業予定	除細動器とAEDについて	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	除細動器とAEDの保守管理について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
20回	個習形式	各コマに おける 授業予定	除細動器とAEDの保守管理について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	心臓ペースメーカの適応症例と設定ついて理解し、説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
21	個習形式	各コマに おける 授業予定	心臓ペースメーカの基礎(適応症例とペ設定:ペーシングモード)	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	心臓ペースメーカの保守管理について理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
22 回	個習 形式	各コマに おける 授業予定	心臓ペースメーカの保守管理について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	その他の不整脈治療器のについて理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
23 回	個習形式	各コマに おける 授業予定	その他の不整脈治療器(植込み型除細動器など)のについて	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講	授業を 通じての 到達目標	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理と構造について理解し、 説明できる	・臨床工学講座 医用治療機器学	
24 回	義形式	各コマに おける 授業予定	輸液ポンプ・シリンジポンプの原理と構造について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義	授業を 通じての 到達目標	輸液ポンプシリンジポンプを使用する治療について理解し、 説明できる。	・臨床工学講座 医用治療機器学	
R 25 回	演習形式	各コマに おける 授業予定	輸液ポンプシリンジポンプを使用する治療法について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ

授美方		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	輸液ポンプの使用手順とトラブル対応について理解し、説明で きる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
26 □	<b>興習形式</b>	各コマに おける 授業予定	輸液ポンプの使用手順とトラブル対応について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	心血管インターベーションについて理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
27 回	興習 形式	各コマに おける 授業予定	心血管インターベーションについて	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義演	授業を 通じての 到達目標	冠動脈インターベーションについて理解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
28 回	<b>興習形式</b>	各コマに おける 授業予定	冠動脈インターベーションについて	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義	授業を 通じての 到達目標	カテーテルアブレーション装置の目的と原理と構成について理 解し、説明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
29 回	演習形式	各コマに おける 授業予定	カテーテルアブレーション装置の目的と原理と構成について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ
第	講義	授業を 通じての 到達目標	カテーテルアブレーション装置の保守管理について理解し、説 明できる	·臨床工学講座 医用治療機器学	
30	演習形式	各コマに おける 授業予定	カテーテルアブレーション装置の保守管理について	・臨床工学技士標準テキスト	前回の講義のまとめ